

特定非営利活動法人 ポラリス



2024年(令和6)度 事業報告
2024(令和6)年4月1日～2025(令和7)年3月31日

2024年度を振り返って

日頃よりNPO法人ポラリスの活動に温かなご支援を賜り、心より感謝申し上げます。2024年度も、地域の皆さまとともに、誰もがその人らしく生きられるインクルーシブな社会の実現に向け、私たちらしい歩みを続けていくことができました。

この一年は、ポラリスが2015年から積み重ねてきた「はたらく・楽しむ・学ぶ」活動を通じて、障害のある方々や心のケアが必要な方々が、さらに社会の中で自分らしく力を発揮する姿が多く見られた年でもありました。生活スキルや社会スキルを育みながら、自らのライフストーリーを地域の方々や行政職員に語る機会も増え、地域における“当事者の声”がこれまで以上に響いた一年だったと感じています。

こうした実践の積み重ねは、企業、特別支援学校、大学、社会教育関係者との新たな連携へとつながり、ポラリスが大切にしてきた「共に生きる」というまなざしが、少しずつ地域に広がってきていることを実感しています。

また今年度は、能登半島地震で被災した地域を視察し、文化芸術によるケアに取り組む現地NPO、亘理町での映画上映会を通じたマーシャル諸島の子どもたちへ送るカンパ集めなど、地域を越えた共生の実践にもポラリスメンバーが主体的に取り組みました。

さらに、長野県上田市で活動されているNPO法人リベルテとの出会いも、私たちにとって大きな喜びでした。遠く離れた地で、ポラリスと同じように、アートを通して障害のある人の可能性を広げ、災害時に備えた支援のあり方を共に考える仲間がいることに、深く心を動かされました。7月にはリベルテの皆さんが車で山元町を訪れ、ポラリスの活動や復興の歩みを視察してくださり、10月と3月には上田市で私たちの取り組みを紹介しながら、「災害への備え」と「障害者の生涯学習」について意見を交わし合いました。これからも、互いの学びや実践を持ち寄りながら、豊かな交流が続いていくことを願っています。

自然災害が全国各地で頻発する中、私たちも再びこの地域に災害が起きた時の備えを冷静に考えています。とりわけ、社会的に弱い立場に置かれやすい人々が、東日本大震災の時の教訓を生かし過ごせるように、ハードとソフトの両面から支援体制をどう整えるか、AEDの使い方、災害時も使う備品や物品の整備、炊き出し訓練、権利擁護や精神障害者にも対応する地域包括支援に関する研修会など、職員の意識とスキル向上に努めました。

日々の実践の一つひとつが、地域に生きる人々の力を照らし合い、支え合う循環となって広がっていることに、希望を感じています。

これからもポラリスは、障害のある人たちが自らの言葉で社会に働きかけ、その声が地域を動かしていくような、そんな社会のあり方を目指して歩みを進めてまいります。皆さまには、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



2025年4月

特定非営利活動法人ポラリス
代表理事 田口 ひろみ

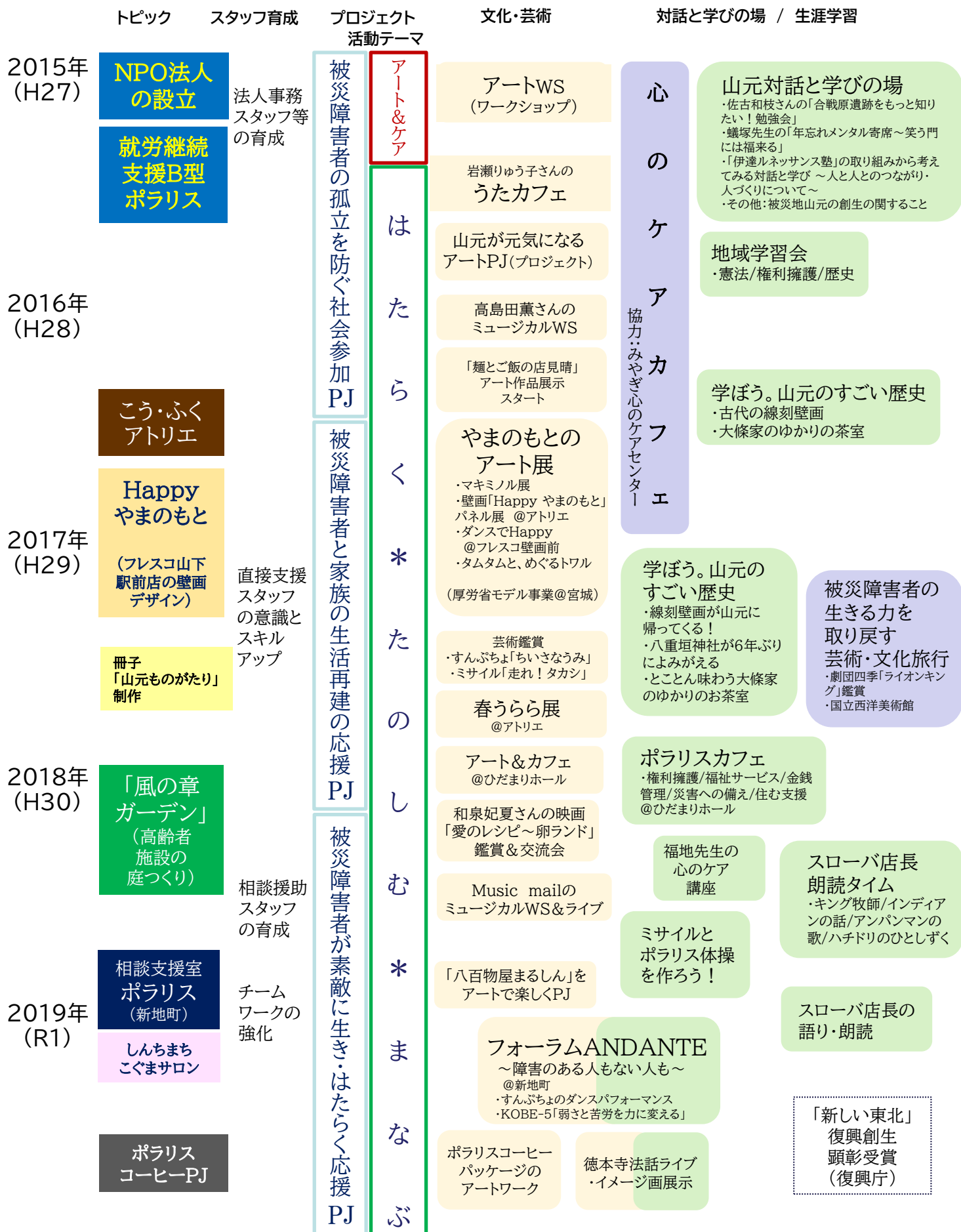
目次

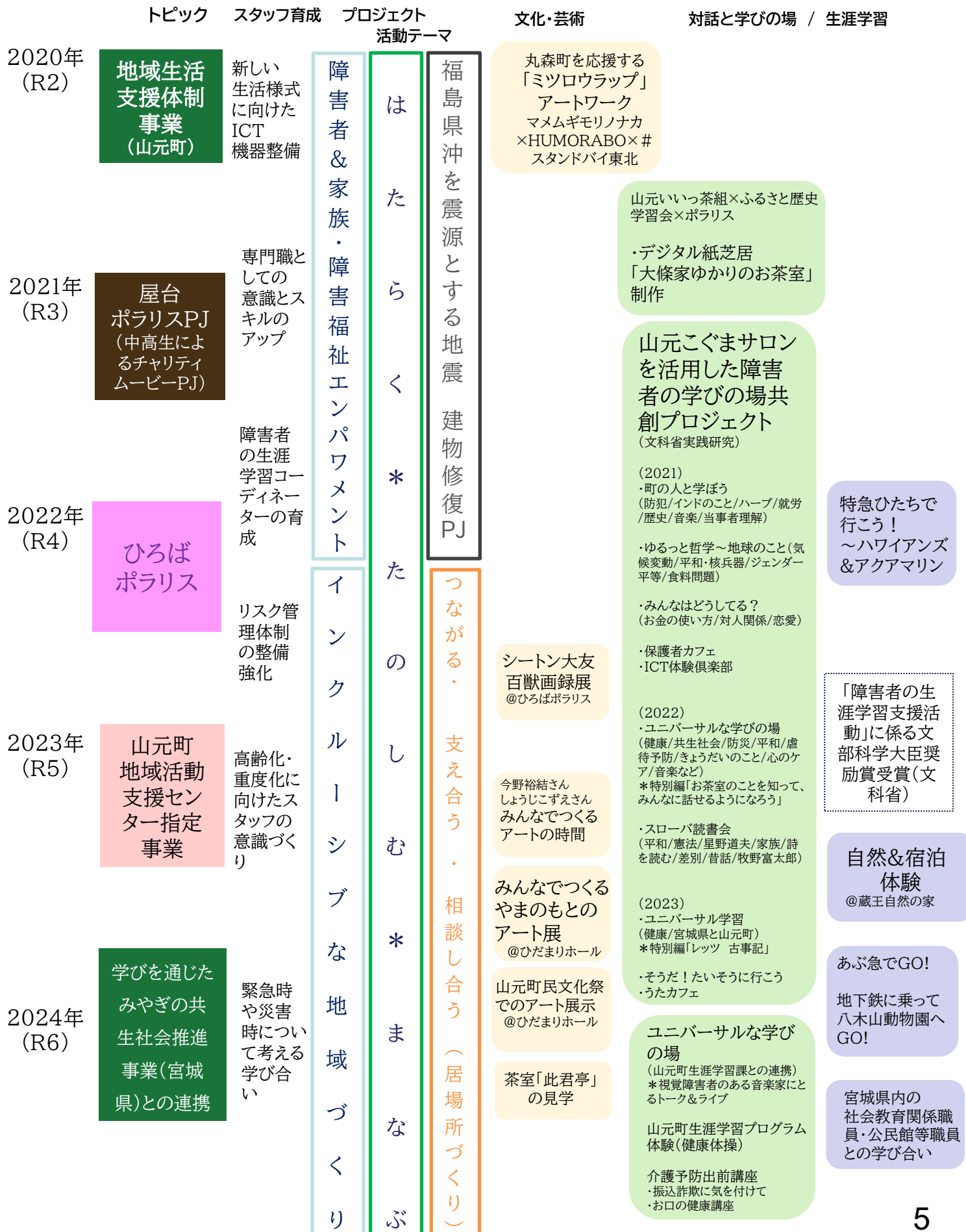


02	2024年度を振り返って
04	ポラリス これまでの活動（2015年～2024年）
06	「ひろばポラリス」 山元町地域活動支援センター運営事業
07	ポラリス 障害者就労継続支援B型事業
08	・地域の中ではたらく～目指せ工賃アップ！ / 農園芸体験
09	・こう・ふくアトリエ / アートのお仕事
10	・“もしも”の時の練習
11	・6/22 視覚障害のある音楽家によるトーク&ライブ
12	・7/9 あぶ急でGO！ / 10/17 地下鉄の乗って八木山動物園へGO！ / まちの図書館利用
13	・11/2 山元町民文化祭 / 12/9 心ほこほこコンサート 12/9 ポラリスのクリスマス会
14	・大條家茶室『此君亭』で楽しく学ぶ / 12/14 つばめの杜西区自治会文化祭
15	山元町（保健福祉課・生涯学習課）との連携 ・山元町生涯学習プログラム / 介護予防出前講座
16	ポラリスの活動紹介 ・まなびを通じたみやぎの共生社会推進事業（宮城県生涯学習課）
17	・東北福祉大学 / 東北労働金庫 学校との連携
18	NPO法人リベルテ（長野県上田市）との学び合い
19	亘理町での「はたらく・たのしむ・まなぶ」
20	ご支援をありがとうございました
22	スタッフの視察・研修 / 法人運営 / 組織概要
23	地域情報誌コミュ掲載記事「心豊かに暮らそう すてきにいきで すてきにはたらく」 ポラリスを応援してくださる方へ（会員募集＆寄付のお願い）



町民バス「ぐるりん号」に乗って元気に通所されています。





障害のある人もない人も つながる ささえあう ところをほぐす場所 ひろばポラリス （山元町地域活動支援センター運営事業）

事業開始	2023(令和5)年4月1日
利用者定員	10名（登録者13名）
従業員数	管理者1名 指導員2名
開所日数	248日
活動内容	創作的活動／生産活動／当事者同士の交流／地域の人との交流



アートと本のフリースペース

〈障害者等の福祉の向上を目的とした取り組み〉

- ・心身が休息できる居場所づくり
- ・ピアサポーターとの対話
- ・体調管理に関する助言
- ・就労に関する助言
- ・福祉サービスに関する助言
- ・地域生活に関する助言
- ・生活スキル習得の支援
- ・まなびに関する支援



ピアサポーターとのおしゃべり

〈関係機関との連携〉

- ・基幹相談支援センター・相談支援事業所
- ・放課後等デイサービス事業所
- ・就労継続支援B型事業所
- ・居宅介護事業所
- ・訪問看護事業所
- ・後見人
- ・日常生活自立支援事業所
- ・特別支援学校



〈主な行事〉

- ・お花見交流会
- ・調理実習
- ・町内ドライブ
- ・避難訓練
- ・野菜収穫体験
- ・音楽鑑賞
- ・クリスマス交流会
- ・保護者懇談会

地域の中で 素敵に生き、はたらく

ポラリス（就労継続支援B型事業）

事業開始年月日 2015(平成27)年8月1日
利用者定員 20名
従業員数 管理者/サービス管理責任者1名(兼務)
職業指導員 4名(常勤専従1・非常勤専従3)
生活支援員 2名(常勤専従1・非常勤兼務1)
目標工賃達成指導員 2名(非常勤専従)

運営方針

- 地域の中で豊かな人間関係を持ち、様々な面で地域の担い手となりいきいきと働くことを支援する。
- 障害をもつ人が学ぶという生きがいを持ち、その上で自分らしい自立のあり方を考え行動することが出来るように支援する。
- 地域の皆さんにも心のケアや地域福祉について理解を広げて、障害者福祉の発展・継続に努める。

通所状況

年度	開所 日数 (日)	利用 登録者 (名)	のべ 利用者数(名)	1日平均 利用者数(名)
2020(R2)	259	21	3,527	13.6
2021(R3)	269	22	3,736	13.9
2022(R4)	293	18	3,651	12.5
2023(R5)	302	18	3,568	11.9
2024(R6)	285	16	3,426	12.1

	利用 登録者数 (名)
山元町	11
亶理町	2
岩沼市	2
柴田町	1
計	16

「はたらく・たのしむ・まなぶ」という活動スタイルが定着し、
施設外就労等の「はたらく」ことにより意欲的に取り組むことができました。
➡ 令和6年度の一月あたりの平均工賃: 25,963円(前年より3,139円 UP)

	就労継続支援B型事業											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設外 就労	(株)GRAMガキファーム 清掃・箱折り											
	山元町つばめの杜中央公園外1施設トイレ清掃											
	新地スマートエナジー(株) 新地エネルギーセンター 清掃											
	フレスコ(株)(ハッピーエコプラザ:資源物回収)											
	(株)ひまわりケアシステム 風の章ガーデン 植栽の手入れ											
	花の店しなほり 生花の搬入・搬出											
	まちづくりやまもと TSUNAMIハーレー館清掃											
	(福)静和会 みやま荘 清掃											
コーヒー	ポラリスコーヒー(豆ピック/焙煎/計量/袋詰め/ハンドドリップ/販売)											
	見晴 作品展示(春～夏) 見晴 作品展示(秋～冬)											
アート 活動	・作品制作 ・展示 ・販売											
	ひろばポラリス (地域交流活動)&屋台ポラリス											
地域参加	「障害者の生涯学習」実践&普及活動											
	事務補助 ・ パソコン入力 ・あて名書き・ 封入作業											
事務業務	自立を目指した生活スキルトレーニング(洗濯 清掃 調理)											
生活訓練												



地域の中ではたらく～目指せ工賃アップ！

(GRAミガキファームでの箱折)



チームワークで箱折スキルが
パワーアップ

(TSUNAMIハーレー館清掃)



(フレスコ ハッピーエコプラザ)



大学生もお手伝い。

(称名寺の落ち葉はき)



(つばめの杜公園トイレの清掃)



「トイレをきれいに使おう」のメッセージを掲示

(風の章ガーデンの手入れ)



農園芸体験



大友俊一さんの畑にて、ジャガイモ掘りをさせて
いただきました。



岩佐洋一さんのご協力で、戸花山近くの畑で野菜作り体験させて
いただきました。
暑い暑い夏を乗り越えて頑張って育てくれたサツマイモと落花
生と丹波の黒豆の収穫を体験しました。

こう・ふくアトリエ



就労(作業)の合間に
取り組んだ刺繍作品



アートのお仕事

(麺とご飯の店 見晴)

2016年から継続して
展示させていただいております！

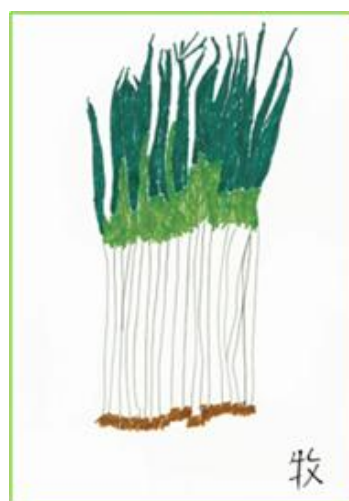


(有限会社やまと屋 葬祭会館 静海波)



「マルシェin静海波」ギフトカード

©加納寛子



会員情報誌に「ねぎ」掲載

©牧稔

“もしも”の時の練習

9/26 避難訓練

朝のミーティングの時に、避難訓練についてやり方を説明して、あんまりドキドキしないで取り組めるようにしました。頭を守り、地震の揺れが落ち着いたら慌てず広場前に集合。みんな集まったかを確認して、その後、町の避難所となる体育文化センターまで歩きました。戻ってきて、水消火器で練習。



10/1 AED講習会 協力 亘理消防署

メンバーの高齢化によって障害だけでなく、他の病気もちらほら。今回は基礎的な救命について、スタッフに加え、希望された保護者も参加

定期的に練習しておくことが大事だと感じました。

11/7 炊き出し芋煮会

今年の芋煮会は、炊き出し訓練を兼ねて、外で薪をくべてかまどでつくりました。炊き出し訓練をしてみて、年配の人たちが火おこしの経験があり、その経験を活かして活躍することができました。



お母さんたちが芋煮づくりの協力

- しょうがごはんうまかった。
- とん汁 おかわりした。
- ボランティアの方々 食事の数に制限あった。
- かまどの火つけが大変だった。
- 食器で片付け時間 ちい 系った。
- うっおにぎりむずかしかった。
- なべのちす汚れおちずらかった。
- たきだしちる傾いたとしてあたたかいものかうれしかった
- しん 質の時の手伝いを思い出した。
- 次に活かせるかもしれない。

(今後の取組みの考察)

薪の片づけ



6/22 視覚障害のある音楽家によるトーク&ライブ

視覚障害を持つフルーティスト綱川 泰典さん、ピアニスト酒井 亮さんによるトーク&ライブ。フルートとピアノが織りなす美しいハーモニー。お二人が奏でる音楽はとても繊細で優しい音色で、その世界観に引き込まれました。お二人のライフストーリーにも触れていただき、立場を超えて、障害のある人もない人も共に学び生きることができる地域づくりについて考え合いました。(参加者 111名)



会場 つばめの杜ひだまりホール
主催 NPO法人ポラリス
共催 東京零環ライオンズクラブ障害者福祉支部
後援 山元町 山元町教育委員会
協力 山元町社会福祉協議会 基幹相談支援センターやすらぎ
宮城県立山元支援学校 山元町地域包括支援センター
山元町文化協会 山元ライオンズクラブ
東北大学地域復興プロジェクト“HARU”
東北学院大学ボランティア“UNUZON”



視覚障害について学ぶコーナー



フルート&ピアノの演奏

曲のイメージに合わせて
メンバーのイラストを
演奏背景スライドに投影



東京零環ライオンズクラブから
能登地震被災地の状況報告



チャリティーブース

能登地震の被災地活動団体
支援のためのグッズ販売と
募金の呼びかけ

※募金56,985円は能登支援で連携しているNPO法人エイブル・アート・ジャパンを通して金沢市芸術村を拠点として活動している「Ten seeds(代表 黒田百合さん)」の被災者向けの文化芸術活動支援に寄付しました。

(アンケート回答より)

- ・目が見えないのにお料理をしてるのすごかったです。
- ・最初のトークでは、障害についての貴重なお話。そして心に残る演奏をしていただき、本当にありがとう。
- ・今までどこか他人事に思っていた障害であったり、社会の生きづらさといったことを自分ごとのように考える良い時間になったと感じています。
- ・司会を担当しましたが、大学生のボランティアがいなければ難しかったと思いました。一緒にやってくれてとても心強かったです。また、司会を褒めてくれて、とても自分に自信が持てました。
- ・大学生の方々がとても協力的に接してくださったので、とても助かりました。
- ・やっぱり人前に立つのは緊張しました。でもきちんと発表ができたので、よかったです。
- ・自分の描いた絵を演奏の背景に使ってくれたのでとてもうれしかったです。
- ・いつも口ずさんでいる曲が多かったので、楽しい1日になりました。

7/9 あぶ急でGO!



角田駅から 阿武隈急行に乗って福島駅へ。

乗ってみたかった「あぶくま急行」に乗ることに前日からみんなワクワクソワソワ。連日の猛暑が続く中、希望者全員が体調悪くせず、お出かけできたことが本当によかったです。
4人ずつ4グループに分かれて、好きな昼食を食べて、お買い物をしました。

(参加したお母さんから)

「メンバーたちがある程度自分の食べたい物を選び、買いたい物を選んでる姿を見て、自分自身を振り返ってちょっと反省しました。子供に対して上から決めつけて言葉を発していたかな。」

10/17 地下鉄に乗って八木山動物園へGO!

(参加者の感想)

- ・大友さんの話も良い勉強になった、いろんな動物がいるんだなー。
- ・小学校以来の動物園でした。大友さんの解説を聞き勉強になりました。特にライオンがこちを見た時は怖かったです。
- ・坂を登る時は疲れたが、体の疲れより、楽しさの方が上回る感じ。
- ・レッサーパンダの所に行ってくれて良かった。寝姿が好きです。
- ・キリン、シロクマ、チンパンジーが見れて、近くで写真も撮れて嬉しかった。
- ・プレーリードッグのそれぞれマイペースな姿に癒された。



「ゆっくり歩く」ことに心がけながら、園内を案内しました。久しぶりに仕事をした感があります ♡

案内役は
シートン大友さん

巡回順路

Aコースの順路

1. アフリカの動物 (カバ、クロサイ、キリン、シマウマ、ゾウ)
- ↓
2. 食堂にて食事
- ↓
3. チンパンジー
- ↓
4. 猛獣 (ライオン、トラ、ホッキョクグマ)
- ↓
5. プレーリードッグ
- ↓
6. レッサーパンダ
- ↓
7. フタコブラクダ
- ↓
8. アフリカの動物 (反対側から)



Bコースの順路

1. アフリカの動物
- ↓
2. 食堂にて食事
- ↓
3. アフリカの動物 (反対側)
- ↓
4. ビジターセンターにて休憩



「遠足のしおり」の一部 シートン大友さん作成)

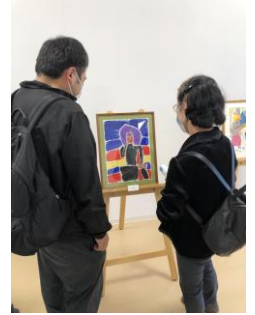
まちの図書室利用

好きな絵本、生活に役立つ本、地理や旅行の本、ドラえもん、小説、ししゅうの図案に役立つ本など。思い思いに好きな本を選べるようになってきました。



11/2～3 山元町民文化祭

会場 つばめの杜ひだまりホール



ポラリス こう・ふくアトリエの会(山元町文化協会会員)の活動成果を紹介。
本日初めてポラリス の作品を見に来てくださった方とも仲良く交流することが出来ました。
地域の方々の素晴らしい作品も数々拝見しました。 ステージ発表の踊りや歌の発表をみんなで楽しみました。

12/9 心ほこほこコンサート

会場 合戦原学堂



宝塚市から来られたソプラノ歌手:長谷川真弓さん・
ピアニスト:轟木裕子さんによる歌と演奏。

合戦原地区の皆さんや健康体操でお世話になっている
皆さんと素敵な曲がいっぱい涙ウルウルしながら
楽しく鑑賞しました。



12/19 ポラリスのクリスマス会

会場 つばめの杜ひだまりホール



スローバーブックス店長の
クリスマススペシャル朗読劇
「プレーメンの音楽隊 ポラリス バージョン」

みんなでフォークダンス「タタロチカ」

大條家茶室『此君亭』で楽しく学ぶ

11/24 仙台藩伊達家ゆかりの茶室竣工式・一般公開日



伊達武将隊とホッキー君がお出迎えしてくれました。
茶室の中を見学することもできました。



サンドイッチマンの似顔絵 牧稔さん制作

2/19 茶室公開日



ふるさとおもだか館から茶室までウォーキング。
職員の方に丁寧に説明もして頂きました。地域の方と
一緒にお話を聞きました。

大條家茶室「此君亭」についての情報

ポラリスが取り組んだ茶室に関する学びや、制作に参加した「デジタル紙芝居」の情報がわかります。

徳本寺HP
「開基、大條家の茶室」



山元町HP
大條家茶室此君亭
リーフレット



12/14 つばめの杜西区自治会文化祭

会場 つばめの杜西区集会所

数名のポラリスメンバーが暮らしている新市街地 つばめの杜地区の皆さんの文化祭にご招待いただきました。

お茶のみ、ポッチャ、作品鑑賞など
楽しい交流ができました。



コーヒーとしょうが茶を
皆さんに飲んでいただきました。



ポラリスのアート作品も
一緒に展示していただきました。

山元町(保健福祉課・生涯学習課)との連携

* 山元町生涯学習プログラム

毎月1～2回、地域の体操サークルの皆さんと
いろんな軽運動を楽しみながら、気分転換と
介護予防に役立てることが出来ました。

場所 ふるさともだか館
協力 坂元元気アップ
フレッシュダンベル



ボールを使ったレクリエーション

10/3 ボッチャ講習会@山元町体育文化センター

* 介護予防出前講座

7/24「振り込め詐欺に気をつけて」

会場: つばめの杜ひだまりホール

協力: 山元町(保健福祉課・町民生活課) 山元町教育委員会(生涯学習課)

講師: 財務省 東北財務局 (理財部 金融監督第三課 専門調査員)

参加者: 25名



スマホやPCを日々使っている人たちも
いるので、どんなことを気をつけて 騙さ
れないようにすることが大切なのか、講
師のお話に加え、メンバーも即興劇に参
加するなどして楽しく地域の人と学び合
いました。

* 7/31「お口の健康教室」

会場: ふるさとおもだか館

協力: 山元町(保健福祉課) 山元町教育委員会(生涯学習課)

講師: 歯科衛生士／保健師

参加者: 27名

(みんなの感想)

- ・歯医者に行っています。先生にもっと磨くように言われた。
- ・はがなくなってもきれいにすることがだいじだとわかった。
- ・むし歯がひどくなるとC4が痛みがあって大変で、ミュータンス菌とスピロヘータ菌いろいろわかった。
- ・健康な歯肉は三角形で、歯肉炎になると歯が抜ける。歯ブラシのやり方は簡単なのでむずかしいという事がわかった。この方法はバス法である。
- ・歯みがきや歯ブラシいろいろ話きいてぺんきょうになりました。
- ・歯ブラシは、1か月から1か月半でとりかえるのがいい。
- ・ガムでは歯垢がとれない。



ポラリスの活動紹介

学びを通じたみやぎの共生社会推進事業(宮城県生涯学習課)

8/30 令和6年度「共に学び、生きる共生社会コンファレンスinみやぎ」

会場 塩竈市公民館、ふれあいエスパ塩竈



メンバーは、ワークショップ「一緒に体験しよう、話そう」で県内の社会教育関係者と交流しました。

9/10 大河原地区社会教育主事研究協議会視察研修



会場 山元町勤労青少年ホーム 軽運動場
協力 フレッシュダンベル・坂元元気アップの皆さん

仙南地域における障害者の生涯学習推進を目的に、大河原地区(2市7町)の社会教育関係職員の方々と学び合いました。

「卓球バレーで交流しよう」

12/18 社会教育関係職員・公民館等職員研修会

会場 宮城県図書館



ポラリス設立前から当団体の障がい者理解普及活動に様々なご支援をいただいている神戸大学の津田先生のインクルーシブ教育や地域づくりについての話をお聞きし、とても学びの多い時間でした。「インクルーシブ」とは誰も排除されないという意味だということを知りました。



宮城県内の事例として、ポラリスのメンバーの体験発表と、ポラリスの活動紹介。

(東北福祉大学) 社会起業実践論Ⅰを受講している大学生との学び合い

7/1・7/22 大学にて、ポラリスの活動紹介

7/12 山元町内フィールドワーク&交流(15名)



(大学生の感想)

- ・フィールドワークなどで体験を増やしていくことが、大切だと感じた。
- ・企業・役場・地域がみんなつながって地域が作られていくと感じた。
- ・、初めて会った山元町の人に挨拶したら挨拶が返ってきて嬉しかった。
- ・障害のある人と直接会って交流してみても、全くイメージが変わった！
そしてとても楽しかった。

協力：株式会社GRA 山元町企画財政課（地域おこし協力隊）



(東北労働金庫)

10/4 「東北ろうきんフォーラムin宮城

～喜びをもって共生できる社会の実現を目指して」 会場 東北労働金庫本部

会場にて、フォーラムに参加した皆さんにコーヒーをご提供するお仕事をさせていただきました。



フォーラムでは当団体が歩んできた10年間の活動について紹介させていただくこともできました。

(たんぽぽの家)

1/25「人と人との間を生きる～最終講義

エイブル・アート・ムーブメント」出版記念& GJ！ 播磨さんの会

会場 たんぽぽの家(奈良市)



第二部でポラリスの活動もお話しさせていただくことができました。播磨さんがこれまで全国各地それぞれの地域の状況に合わせてどんな種まきをしてくださったかを皆さんにお伝えする中の1つのケースとして、東日本大震災が起きた後に、小さいところ、弱いところ、支援の手が届きづらいところに温かい応援をしてくださったことをちょっとお話しさせていただきました。

学校との連携

(山元支援学校)

* 6/10～28、11/25～29 高等部 職場体験実習

* 8/7 PTA会員研修会～ポラリスの活動「はたらく、楽しむ、学ぶについての紹介」(20名)

(相馬看護専門学校)

* 11/28～29 臨地実習「セルフエデュケーション」受け入れ 1名

NPO法人リベルテ(長野県上田市)との学び合い

7/5～6 @宮城県山元町

リベルテチームによる宮城での宿泊研修



被災地で、どんな活動しているか、災害時はどうだったか等を直接見て聞いて考える旅。
はるばる上田市からリベルテのメンバーが来てくれてメンバー同士でいろんな情報交換をする機会となりました。

10/26～27 @長野県上田市

路地を巡るフィールドワーク体験



「生きるための寄り合い」
トークセッションでの
活動紹介



リベルテの3つの事業所
「roji」「柳町」「丸堀」とカフェ「屯」体験

* 10月～3月 作品交歓

(展示会場:リベルテ/ポラリス)



リベルテにポラリスの作品展示



リベルテ作品を ひろばポラリスに展示

3/29 @長野県上田市

「障害のある人と共に表現で開く学びの環境」にて



「東北における障害者支援
×生涯学習の取り組み」
というテーマの中で、
活動を紹介。

災害や格差といった社会不安が高まる中で、社会教育や生涯学習の価値についてあらためて理解する必要があるのではと、共に考え合いました。



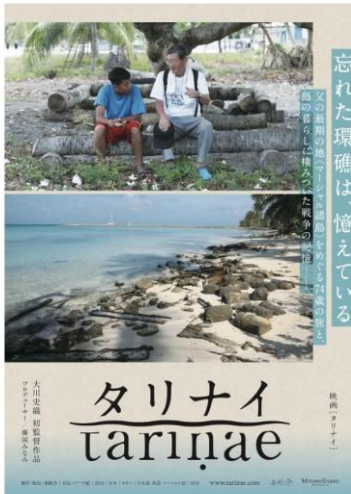
(世界を結ぶ街歩きマップ)による当事者視点での
フィールドワークを楽しく体験

亶理町での「はたらく・たのしむ・まなぶ」

8/25 映画「タリナイ」上映会

亶理町と周辺地域から240名の方と一緒に映画鑑賞。

会場 亶理町役場



主催された遺族会の皆様の「平和の大切さを伝えたい」という強いお気持ちを感しました。



募金55,000円は映画を監督した大川史織さんに直接お渡し、マーシャル諸島で暮らす子供たちのために届けていただきました。

11/19 亶理町共生社会研修会

亶理町の社会教育×福祉関係者の方々×ポラリス (35名)



ポラリスメンバーが会場の準備や受付や進行係、ライフストーリー発表など色々と主体的に参加させて頂きました。

亶理町の方とははじめての学び合いでしたが、はじめてではないみたいのうちとけて立場を超えてグループ編成し、互いに対話することも楽しめました。

福祉×教育
行政×NPO×地域

そんな連携の形が、「しなやかで優しいまちづくり」につながっていくという事をお伝えすることができました。

主催：宮城県教育委員会
共催：亶理町教育委員会
講義&ワークショップ：ポラリス

12/6 福祉就労フェア



活動紹介&オリジナルグッズ販売



ポラリスコーヒーPRコーナー

ご支援をありがとうございました



ILBS国際婦人協会 朝日山荘厳院 稱名寺 アベカンパニー 石田秀男税理士事務所 (福)石巻祥心会
映画「タリナイ」上映実行委員会 (特非)エイブル・アート・ジャパン エルフの森 遠藤電気工事 大河原地区社会教育主事研究協議会
ガーデン工房 結-YUI- 合戦原区 (特非)奏海の杜 きく邑 木村工事(株) (株)クニイ&コミュニケーションズ
グループホームにじいろ (特非)子育てひろば夢ふうせん 財務省東北財務局 坂元元気アップ (一社)さんらいず (株)GRA
(福)清水基金 旬魚酒房 金八 新地クリニック 新地スマートエナジー(株) 新地町 (株)菅原工務店 (有)鈴や (福)静和会
(福)洗心会 (株)仙南測量設計 曹洞宗 光明山 徳本寺 曹洞宗 龍頭山 鳳仙寺 相馬看護学校 (医)多布施クリニック
(財)たんぽぽの家 つばめの杜西区自治会 でらボラNAGOYA Ten Seeds ドイツ語婦人会 東京零環ライオンズクラブ
東北学院大学ボランティア“UNIZON” 東北大学地域復興プロジェクト“HARU” (学)東北福祉大学 東北労働金庫
戸花山つつじ・桜サポータークラブ どらごえサークル (株)ナルケ自動車 (特非)虹色たんぽぽ (特非)日本NPOセンター
(公社)日本フィランソロピー協会 (有)ぬか茂菓子店 (株)福祉新聞社 花の店しなほり (株)ひまわりケアシステム PMJ歯科
(特非)100年福祉会片山工房 (株)福祉新聞社 藤装建(株) フレスコ(株) フレッシュダンベル (ロウム)プロゲート
(福)房香会 保険みやぎの ポラリスこう・ふくアトリエの会 ポラリス保護者会 炭焼ホルモン貴 (株)マックス設計
(医)松村クリニック 宮城県立山元支援学校 (一社)まちづくりやまもと 宮城県 宮城県教育委員会 (特非)麦の会こっぺ
麺とごはんの店 見晴 (株)モリキュウ 杜のかまど Morino花cco 文部科学省 八重垣神社
森の中の小さな古本屋「スローバックス」 (有)安田工務店 (株)山元電設 (有)やまと屋 山元いっ茶組 山元町
山元町教育委員会 (福)山元町社会福祉協議会 山元町地域包括支援センター 山元町文化協会 やまもと民話の会
山元ライオンズクラブ ライオン運輸(株) (特非)リベルテ 霊友会「ありがとうこだま基金」 亘理遺族会 亘理消防署
亘理町 亘理町教育委員会 亘理町障害者等地域自立支援協議会

ほか たくさんの方々から、あたたかいご支援とご協力をいただきました。 本当にありがとうございました。



ありがとう ポラリスさくらだ号



2016年5月にライオンズクラブ国際協会330-A地区の方々からご寄付いただいた車両「ポラリス さくらだ号」

地域に出て活動してきた私たちは、これまで毎日「ポラリス さくらだ号」に乗って、“はたらく・たのしむ・まなぶ”活動に取り組むことができました。

月日が経ち、お別れの日がやって参りました。

メンバーもスタッフもとても愛着があり、お別れは とても寂しい気持ち。車屋さんに運んでもらう時、みんなで「ありがとう」と、手を振りました。たくさんの思い出が詰まった「ポラリス さくらだ号」。これまで 本当に ありがとうございました。

霊友会ありがとうこだま基金 活動資金寄付



東北労働金庫

「社会貢献目的定期預金ふれ愛預金」からの寄付



清水基金

NPO法人助成事業(車両購入助成)



通所の際の送迎と地域をフィールドにした活動のためのメンバーたちの送迎を担う新規車両導入の資金についてご支援をいただきました。

スタッフの視察・研修

- 5月14日～18日 生物多様性と地球環境考える徳島視察研修
・しずくラボ「SHIZQ STORE」(徳島県神山町)
・ゼロ・ウェストセンター(徳島県上勝町)
・やまを守り育てる林業と生物多様性を学ぶ橋本山林ツアー(徳島県那賀町)
- 5月23日～26日 能登半島地震、被災地視察と情報交換(協力:Ten Seeds 黒田百合さん)
- 9月12日 災害時のトイレについて相談(協力:㈱バイタルネット)
- 10月1日 AED(自動体外式除細動器)の使い方講習会(協力:亘理消防署)
- 10月22日 緊急時対応についての勉強会(協力:アベカンパニー 阿部和宏さん)
- 11月1日 山元町在宅医療・介護連携推進会議研修会(講義:東北福祉大学 森准教授)
- 11月7日 炊き出し体験&防災について、みんなで考えよう(協力:保護者の皆さん)
- 11月27日 グループホーム「にじいろ」見学
- 12月17日 令和6年度権利擁護研修会セミナー
- 12月20日 山元町障害者地域協議会 にも包括部会(体験発表:ポラリスメンバー 牧稔さん)
- 2月1日 共に学び、生きる共生社会コンファレンス東北ブロック(仙台市)
- 2月3日 福島県地域包括ケア研修「諸外国の精神保健から学ぶにも包括」(福島県郡山市)
- 2月18日～19日 宮城県障害福祉サービス管理責任者現任者研修
- 2月26日 感染症予防とBCP体制に関する研修(協力:アベカンパニー 阿部和宏さん)

法人運営

1.会議等の業務

【第8回通常総会】

日時:2024年6月1日

- 2023年度事業報告(案)・活動計算書決算(案)の承認
- 2024年度事業計画・活動計算書予算の報告

【理事会】

日時:2024年5月30日

- 2023年度事業報告(案)・活動計算書決算(案)の承認
- 2024年度事業計画(案)・活動計算書予算(案)の検討 ほか
上記のほかに4回開催し、雇用に関する件、
「こう・ふくアトリエ」利用に関する件について審議を行った。

【監査】

日時:2024年5月30日(水)

- 2023年度事業報告(案)の監査、承認
- 2024年度活動計算書決算(案)の監査と承認

2.会員に対する業務

- 正会員・一般会員の入会、継続に伴う業務
- 2023年度事業報告・活動計算書決算
及び2024年度事業計画・活動計算書予算の送付
- 事業等の案内および報告資料の送付

3.経理などの業務

- 資金管理として、現預金などの日常の管理状況を明確にする。
- 税務に関する業務として、源泉徴収税等の税務関連の業務を
石田秀男税理士事務所に委託

4.労務管理などの業務

- 法人に関連する人事労務管理、労働保険や社会保険関係
の手続きに関する書類作成・届出、法改正などの業務について、
社会保険労務士法人プロゲートに委託

5.総務関連などの業務

- 業務運営に必要な届出業務
- NPO法人としての宮城県への2023年度事業報告・活動計算
書決算の提出(総会後完了)

6.広報などの業務

- ウェブサイト、フェイスブックを活用した広報活動
- ポラリス活動報告書、その他を作成し、広報活動を行う。

組織概要

設立年月日	2015年5月14日
代表理事	田口 ひろみ
理 事	品堀 学 佐藤 路代
監 事	大山徳江
会員数	正会員 12名 一般会員81名、23団体(2025年3月31日現在)
住 所	〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原72番地64
TEL/FAX	0223-36-7410
WEB	https://polaris-yamamoto.com





身近な文化に気軽に触れ、いつもの生活にちょっとした彩りを。

すてきにいきで すてきにはたらく



「すてきにいきで、すてきにはたらく、それを目指して学び続ける。楽しい事をしていると働く意欲も出てきて、仕事でも活躍できるんです。障害者でも、私達でも！」そう語るのは、山元町のNPO法人ポラリス代表の田口ひろみさん。2015年の設立以来、就労継続支援B型事業所として、働く場の提供と共に、学びや体験を通して地域の人と障害者が互いに理解し合う場をつくり続けてきました。地域と連携した取り組みを続け、県内で障害者に対する社会教育の普及促進も行なうポラリスの田口さんにお話を伺いました。

ポラリスは震災後に設立されたんですね。

震災時、私は町の障害者福祉施設で働いていました。その時、施設が一時閉鎖となってしまう、障害者が避難所や親戚の家にお世話になることの大変さを目の当たりにしました。周囲の人も、障害者にどう対応したらいいかわからない。だれも悪い人はいないのだけど、どうやったら障害者の大

変さ理解してもらい、偏見をなくせるのだろうか、お互いに仲良く支え合うには何をしたらいいのだろうかと毎日悩みました。そんな経験から、弱い立場の人を取り残さない地域復興を目指し、障害者福祉を行うNPOとして、震災後にポラリスを立ち上げました。

災害時だからこそお互いを理解し合う必要性を痛感し、ポラリスの活動に繋がっていったんですね。

震災復興で様々な方と出会う中、障害者福祉と社会教育（学びや体験の場づくり）を連携させることで、より多面的に障害者



支援ができるかもしれないと気付きました。障害者家族の孤立、地域の無関心・偏見など福祉の中だけでは解決できない課題もたくさんあります。社会教育を通して、障害がある人もない人も一緒に楽しく学ぶ場があれば、他者を理解し合う、優しい地域づくりにもつながるという思いで実践をはじめました。



どんな場をつくってきたのですか？

設立当初から学びの場づくりを始め、2019年からは「山元こぐまサロン」という名で事業を開催しました。町や文科省も徐々に応援してくれるようになり、昨年度一年間の参加人数は延べ千人を越えました。歌や体操、古事記についての学びやアートなど、多彩な内容を学び合う事で、関わってくれた地域の様々な業界に障害者理解が広まったと思います。

関わる人が増える中で、欠かせないのはポラリススタッフが担ってくれたコーディネーターとしての役割でした。地域の公民館活動に混ぜてもらった際、挨拶ができず、

集中力が切れて寝転んでしまう障害者に対して、当初地域の方からは少しキビシイお声をいただきました。でも、その行動をどう理解したらいいかをスタッフが伝え続けたことで、回数を重ねるうちに地域の方も障害についての理解を深めてくれました。そして、最終的には「今日は来ないの？ 待ってたのに」と言われるような関係となってくれたんです。そうやって互いに試行錯誤をしながら関係を作ることで、少しずつ地域に共感者が増えていきました。

国連で採択された障害者権利条約を2014年に日本も批准し、障害者ももっといきいきと暮らせる時代になってきました。この条約は、障害者を国としてどう応援していくかという道しるべです。ポラリスの由来は北極星。私たちは、障害者も含めた地域の方々の「すてきにいきで、すてきにはたらく」道しるべとなるよう、これからも活動していきます。



ー今月の案内人ー

田口 ひろみさん

NPO法人ポラリス代表。32年前、仙台から山元町へ移住。震災後の山元町にて、社会教育を通じたソーシャルワークに取り組む。

地域情報誌コミュ4月号にてポラリスの活動をご紹介いただきました。
(株式会社クニイ&コミュニケーションズ)

ポラリスを応援してくださる方へ

【会員募集 & 寄付のお願い】

◎一般会員になって継続的に応援する

ポラリスでは、事業活動に継続的に賛同くださり、会費という形を通じてサポートして下さる一般会員を募集しています。会費を納入していただいた皆様には、ポラリスの活動がわかる広報誌やお知らせ、報告、オリジナルグッズを送らせていただきます。

一般会員／年会費 1口 3,000円

◎寄付で応援する

ポラリスでは地域コミュニティの場づくりとして、様々な活動をおこなっております。それら多くの活動では、皆さまからのご支援なしでは活動を続けることができません。私たちの活動をぜひとも応援してください。

お問い合わせはこちらまで

会員、寄付に関するお問い合わせ、お申し込みにつきましては事務局までご連絡ください。

TEL/FAX 0223-36-7410

発行 2025年6月15日
特定非営利活動法人ポラリス